

民主党議員を`仕分け、蓮舫も長妻も役に立たない

週刊朝日

愛子さまとスケート
「確信的」と宮内庁が嘆く
雅子さまの「公務観」

超スクープ第3弾
暴力団員の弁護士費用を
「検察一家」が
肩代わり?!

いよいよプロへ
斎藤、沢村、大石…
イケメン写真

子連れ
離婚・再婚で
変わる
家族のカタチ

11|12
2010
350円

2010
国民読書年
杏

管政権、高齢者医療`改革`の実態
最大不幸社会が
やってくる!

人事・労務のコンサルティングで29年の実績と1200件を超える経験を

中小企業の存続と発展を支える

中小企業経営者協会

中小企業経営労務研究所



岡本 孝則 所長

今春、3月19日、幻冬舎から発売された『今すぐ捨てたい労務管理の大誤解48』は、1週間でAmazonベストセラーランキング（人事・労務管理）と《経営管理》で第1位（総合72位）、そして発売4カ月半、Amazonベストセラーランキング（人事・労務管理）と《経営管理》の2部門で連日、再び首位となるなどロングセラーを続けている。

その著者であり、中小企業経営労務研究所の代表者である岡本孝則氏は、この不況下に「残業代の未払いなど、労務関係の法律を違

守していない中小企業が多く、どちらかというワンマンで、労務の問題を勘違いしている企業経営者も多い。景況が厳しくなれば、なお今後、従業員の労務管理や給与などのトラブルが元となって起こる訴訟や補償問題などで倒産する企業、すなわち労務管理の不手際が原因の「労務倒産」が増えるでしょう」と、誤解のある労務管理に警鐘を鳴らしている。

また「今後の労務管理の要点として、残業問題と社員のメンタルヘルスマネジメント、さらにはリストラ問題（解雇）、この3つが大きな課題となるでしょう」と声を大にする岡本氏。社会保険労務士として30年を超えるキャリアを持つっており、1981年の中小企業経営労務研究所開設以来、千二百社を超える中小企業からの相談を受け人事・労務管理を指導し解決してきたという豊富な経験を持つ人である。そして、その経験に基づく実践

的な人事労務改善指導や手堅い賃金管理を専門とするというのが、この研究所の特長である。

いわば、地域の中小企業経営者の人事・労務のリスクから会社を守るための頼れる「助っ人」ともいえる同研究所。「私達は、社員を会社の大切な人財と考え、企業様の社風に合った人事・労務に関するご支援を通して、社内において労使間で強い信頼と絆ができ、企業様が永続的に存続し、発展していく事を常に願っています。そのために、最新の人事・労務情報を絶えず発信し、企業経営に少しでもお役に立てるご提案ができるよう、たゆまぬ努力を続けていきたいと思います」という理念を掲げており、そして、それを実践・指導するのが岡本孝則氏の真骨頂であると言えるだろう。

岡本氏が具体的なリスクポイントとして、こんな誤解をいまませんか、と指摘するのが「未払い

残業代を請求されたら全額支払わなければならない？ 条件をしっかりと伝えれば、労働契約書を作る必要はない？ 給与を「残業込み」でまとめて提示してもよい？ 会社の業績が悪化しても給与引き下げはできない？ 従業員の退職時に有給休暇の請求を拒むことができぬ？ 就業規則に規定を設ければメンタルヘルスに問題がある従業員を自動的に退職させられる？ 労基署の申告監督対応は？」などの項目で、それらのリスクポイントを25問の質問形式にした、わかりやすい「労務リスク診断申込書」を、このたび、自社のホームページ上にアップした。経営者や労務担当者、この診断書に「YES」「NO」と回答するだけで無料のリスク診断が受けられる。

また、弁護士をはじめとする各専門家とのネットワークをもち、現実の問題が発生した場合には、その総合力で問題解決に当たる。なお、各企業の経営者・担当者からの要請による各種研修や、分野の専門家と提携しての各種セミナーも積極的に行っている。

横浜市青葉区美しが丘2-28-15
045-902-0199
<http://www.chukeiron.com/>

あなたの会社に忍び寄る
労務倒産の足音

今すぐ捨てたいの
労務管理大誤解
48

あなたの会社に忍び寄る
労務倒産の足音

今すぐ捨てたいの
労務管理大誤解
48

発売以来ロングセラーを続ける岡本氏の著書